

「学校防災教育フォーラム in せんだい」

会場：楽楽楽ホール

仙台市学校防災教育の一層の充実を目的として、平成26年1月31日（金）に「新たな学校防災教育に求められるもの」をテーマにフォーラムを開催しました。参加者は、仙台市立学校（幼、小、中、高、特支、中等）の教員とPTA役員、学校支援地域本部、連合町内会関係、教育委員、市議会市民教育委員、関係部局職員など、約400名でした。



泉ビレジ館連合町内会実践発表

実践発表

- ・ 東六番丁小学校
- ・ 泉ビレジ館連合町内会
- ・ 仙台市市民局地域政策部

講演

- ・ 滋賀大学教育学部 藤岡達也教授
- ### フロアディスカッション
- ・ コーディネーター
東北大学教授 佐藤健教授
 - ・ パネリスト 上記4名の方々



東六番丁小学校実践発表



市民局地域政策部実践発表

1部の実践発表では、モデル校を代表して東六番丁小学校から防災教育カリキュラムの編成と実施について、泉ビレジ館連合町内会からは、地域と学校との連携について、市民局地域政策部からは主に仙台市防災計画と地域版避難所運営マニュアルについての発表がありました。

2部では、藤岡達也滋賀大学教授から、「新たな学校防災に求められるもの」と題して震災の教訓の伝承や防災管理による命を守る主体的な意識の育成についてご講演いただきました。続いて、佐藤健東北大学教授をコーディネーターに、実践発表の3名と藤岡教授にパネリストをお願いし、フロアディスカッションを行いました。はじめに、実践発表者3名にフロアの皆さんの質問に答えていただき、次に、学校でどのように防災教育を推進するのか、地域・家庭との連携をどのように図るかということに論点をしぼりディスカッションが進められ、有意義な話し合いが行われました。

(教育指導課)



フロアディスカッション



講演「新たな学校防災に求められるもの」



会場の様子